

〔事業者が特に力を入れている取り組み：知的障害者通所授産施設〕

《事業所名：きね川福祉作業所》

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている
タイトル①	利用者のやりたいことを活動に反映する取り組み	
内容①	利用者同士の話し合いの場である「タウンミーティング」を毎月開催している。「タウンミーティング」利用者の自発的な動きを目指す事を目的として始まったものであり、平成18年から開始されている取り組みである。1年目は「施設長と話しましょう」という名称でスタートし、22年に名称を変更して今日に至っている。ミーティングでは利用者がやりたい事等を提案し、提案した人が仲間を募って実施する事を行っており、その中で始まった調理活動は20名ほど参加する活動になっている等、利用者の自発的な意見が活動に反映されている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル②	理念浸透、研修体制等、法人の取り組みに沿って組織力の向上を図っている。	
内容②	経営理念の浸透を目的とした「理念研修」を法人全体で体系化しており、計画に沿って地区毎に研修を進めている。全5回の地区研修には職員全員が毎回参加するようにしており、今年度は他施設施設長の講義を聞く機会を設ける等、一過性ではなく継続的に、職員一人ひとりがより深く学ぶことに取り組んでいる。人材育成も法人全体の研修体系の中で行われており、行動規範理解、接遇マナー研修等が計画的に実施されている。階層別研修は新任研修、新任リーダー研修等、段階に応じた受講ができる仕組みであり、この体系の中で人材の育成に取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	利用者の希望や自発性を重んじた支援
	内容	作業の選択については利用者が希望する仕事に就いてもらっており、例えば新しい仕事が好きな人には新しい作業をしてもらおう等、極力本人が好む作業をもらっている。また、利用者にノルマを課す事はしておらず、利用者のペースで作業できるようにしている。利用者同士の様々な人間関係があるなか、個別の關係に配慮しながら、利用者の希望や自発性を重んじ、その力が充分に発揮できるような支援に取り組んでいる。
2	タイトル	利用者意見を汲み取り、希望を活動に反映させている
	内容	「タウンミーティング」と称して利用者同士で話しあう場を設けており、例えばシャワートイレの設置など施設の修理に関する利用者からの要望はこのミーティングで汲み上げている。また、毎月のミーティングでは利用者同士で話し合い、自分たちで何をしたいかを決めて実施しており、利用者の意見を活動に反映させている。「タウンミーティング」とは別に毎週フロアごとに実施している「お茶会」もあり、利用者との意見交換の機会を豊富に持っている。
3	タイトル	リーダー、人材の育成に関する取り組み
	内容	就業環境については職員からの改善要望等は特になく、訪問調査でも良好な環境が保たれているようであった。職員に任せられる部分はできるだけ任せており、権限や責任を持たせながらリーダー、人材の育成に取り組んでいる。目標による管理やOJTなどは力を入れて取り組み始めたところであり、今後の充実が期待される部分もあるものの、職員の自発性や責任感を重んじつつ人材育成を図っているところは評価できる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	組織全体での業務の点検、見直し
	内容	業務の標準化については、パソコンを使った記録に関して今後のマニュアル化を課題としている等、業務内容の変更に合わせて整備を進めている。マニュアルを用いた業務点検や定期的な見直しは各係が行うが係任せになっている部分もあるように見受けられた。今後は各係での点検に加えて全体としての確認、改定の手順を定める事を期待したい。
2	タイトル	業務改善の仕組みの活用
	内容	職員からの改善提案は「気づきメモ」を活用する仕組みがあり、年間の目標を定めて取り組んでいるが、提出は少ない状況となっている。今後、会議で出される気づき等の意見を書式に落とす事や意識を高める等の方法で収集および全体の共有を進め、改善の仕組みとして機能させてゆくことを期待したい。
3	タイトル	内部プロジェクトの継続、発展的な取り組み
	内容	自立支援法移行に向けては今年度、内部プロジェクトを発足させて自主生産品の研究、検討を続けている。自立支援法移行の減収懸念がある中で、通所の魅力度を向上させる事、高い利用率を維持できる活動の創出に今後も力を入れて取り組んで行くことを期待したい。